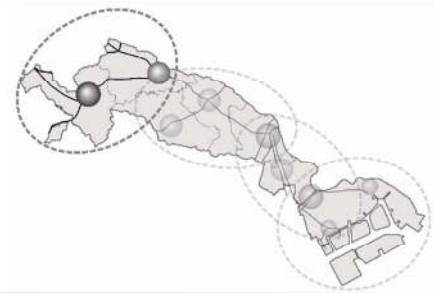


# V 北部エリア

小田急小田原線、多摩線沿線等の地域で、麻生区・多摩区を含む範囲



## 1 北部エリアの特徴

### (1) 市民の行動

- ・通勤や買い物等の市民の行動圏は、小田急小田原線に沿って、新宿方面や町田方面に広がっています。
- ・エリア内における市民の買回り品の購入や娯楽・レジャーを目的とした行動では、新百合ヶ丘駅周辺が多く利用されているほか、新宿方面や町田方面等、小田急沿線の他の近隣都市の利用もみられます。

### (2) エリア内の交通特性と拠点地区

#### ①交通特性

##### ア 鉄道ネットワーク

- ・放射方向に北部エリアと都心をつなぐ小田急小田原線と新百合ヶ丘駅と多摩ニュータウン方面をつなぐ小田急多摩線によって広域的な鉄道ネットワークが形成されており、それと接続するJR南武線が市域を縦断しています。
- ・本エリア内では、小田急小田原線の鉄道利用者が多く、都心方面と多摩地域や県央方面を結ぶ重要な鉄道路線となっています。

##### イ バス等の交通ネットワーク

- ・新百合ヶ丘駅等の拠点地区や小田急小田原線の各駅から、周辺の住宅地や住宅団地等を経由し、他の鉄道路線の駅や大型病院等のバスターミナルに接続するバスネットワークが形成されています。
- ・駅勢圏に比べ本エリアの奥行きが広く山坂が多いため、路線バスによる駅へのアクセスが多くみられます。

#### ②拠点地区

##### ア 広域拠点：新百合ヶ丘駅周辺地区

- ・芸術のまちとして、商業・業務、文化等の諸機能の集積が進んでおり、拠点地区の周辺では、計画的に整備された住宅地が広がる中、多摩丘陵等の緑豊かな自然環境が残されています。

##### イ 地域生活拠点：登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区

- ・登戸土地区画整理事業が事業中であり、交通結節機能の強化や商業・業務・文化等の諸機能の集積が進んでおり、拠点地区の周辺では、住宅地が広がり、多摩川や生田緑地等の緑豊かな自然環境が残されています。

### (3) 小田急小田原線等

#### ①鉄道沿線の主な拠点地区

- ・小田急小田原線沿線の都心方面には、我が国を代表する商業・ビジネス都市である新宿駅があり、また小田原方面には、町田市を中心市街地で交通結節点である町田駅があり、それらの拠点では、大規模な業務施設や商業施設等の機能集積がみられます。

**②鉄道沿線の人口動態**

- ・市外を含めた鉄道沿線全体では、今後、人口減少の進展が見込まれている一方で、市内の鉄道沿線では、新百合ヶ丘駅周辺や小田急多摩線沿線の計画的に形成された市街地を中心に、今後も人口の増加が見込まれています。
- ・新百合ヶ丘駅周辺や小田急多摩線沿線を中心に高齢者の増加が見込まれています。

**③鉄道沿線の動向**

- ・小田急電鉄では、小田急小田原線の複々線化による輸送力の増強に向けた取組や、鉄道沿線の快適な住環境の形成による個性と魅力の向上に向けた取組を進めています。
- ・小田急電鉄と川崎市で包括連携協定を締結し、駅を中心としたまちづくりや公共交通機能の強化等、暮らしやすいまちづくり、地域資源を活かした豊かなまちづくり、鉄道沿線の魅力向上・活性化に関する取組を進めています。
- ・川崎・横浜市北部と横浜市中心部とのアクセス利便性の向上に向けた横浜市営地下鉄3号線の延伸について、関係機関と協議を進めています。

**(4) 土地利用**

- ・本エリアでは、住宅系土地利用が多く、鉄道延伸とあわせて一体的に形成された住宅地と鉄道駅から離れ、個別の土地区画整理事業や宅地造成事業等によって形成された住宅地や住宅団地が混在しています。
- ・丘陵部では、主に低層の戸建て住宅を中心とした住宅地が形成されています。
- ・小田急小田原線の鉄道沿線には、専修大学や明治大学、昭和音楽大学等の文化・教育施設が多く立地しており、また、広域的なレクリエーション交流機能を持つレジャー施設も立地しています。
- ・小田急多摩線の麻生区栗木、黒川のマイコンシティでは、工業系土地利用により、研究開発機能の集積が進められています。
- ・自然的土地利用の割合が、他の生活行動圏と比較して高く、多摩丘陵に広がる樹林地や農地、生田緑地等の自然環境が豊富に存在します。

**2 北部エリアの課題****①拠点等の整備とその効果の効果的・効率的な波及**

- ・本エリアの拠点地区である新百合ヶ丘駅周辺地区や登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の都市機能の集積効果や整備効果を高めるとともに、その効果を効果的・効率的にエリア全体に波及させていくため、拠点整備と連携した鉄道沿線の取組が必要となります。

**②交通環境の利便性の向上**

- ・本エリアは奥行きが広く、高低差のある丘陵部に住宅地が広く分布しているため、駅からの距離や地形、道路環境の特性等も考慮したうえで、市民の生活を支える身近な駅へのアクセスの向上が必要となります。

**③地域資源の活用**

- ・地域資源の活用による多様な交流の創出を図るため、生田緑地や多摩川、多摩丘陵の樹林地、農地（黒川・岡上・早野地区の農の三大拠点や都市農地）、大学等の教育・文化施設、栗木・黒川地区の研究開発機能等を本エリアの特徴的な地域資源として、まちづくりに活かしていくことが必要となります。

④市街地環境の改善

- ・鉄道沿線から離れたエリアでは、開発事業等により計画的に整備された住宅地や住宅団地が広く分布しており、このような市街地では、同時期に同世代の入居が進んだことから、人口減少や高齢化が進んでいる地域もみられるため、地域コミュニティの低下や空き家の増加等への対策が必要となります。

### 3 北部エリアの都市構造

1 鉄道		小田急小田原線、小田急多摩線、JR南武線、京王相模原線、横浜市営地下鉄3号線（新規ネットワーク）
2 地域生活ゾーンの形成		概ね多摩区域及び麻生区域
3 拠点地区	①広域拠点	新百合ヶ丘駅周辺地区
	②地域生活拠点	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区
4 主な施設等	①身近な駅 (拠点地区以外)	小田急小田原線：生田駅、読売ランド前駅、百合ヶ丘駅、柿生駅 小田急多摩線：五月台駅、栗平駅、黒川駅、はるひ野駅 JR南武線：稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、 京王相模原線：京王稲田堤駅
	②病院 (一般病床 300 床以上)	新百合ヶ丘総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、川崎市立多摩病院
	③大学	専修大学、明治大学、日本女子大学、昭和音楽大学、日本映画大学、田園調布学園大学、玉川大学、和光大学
	④産業・研究開発	かわさきマイコンシティ
	⑤公園緑地 (市民健康の森含む)	多摩川緑地、生田緑地、王禅寺ふるさと公園、東生田緑地、稲田公園、麻生鳥のさえずり公園、早野聖地公園
	⑥その他	市営住宅：多摩区 9か所（中野島多摩川 等） 麻生区 2か所（高石 等） 多摩市民館、麻生市民館、麻生市民館岡上分館、よみうりランド、川崎市アートセンター、青少年科学館

第1部

改定の趣旨等

第2部

まちの現状・課題

第3部

都市づくりの基本理念

第4部

分野別の基本方針

第5部

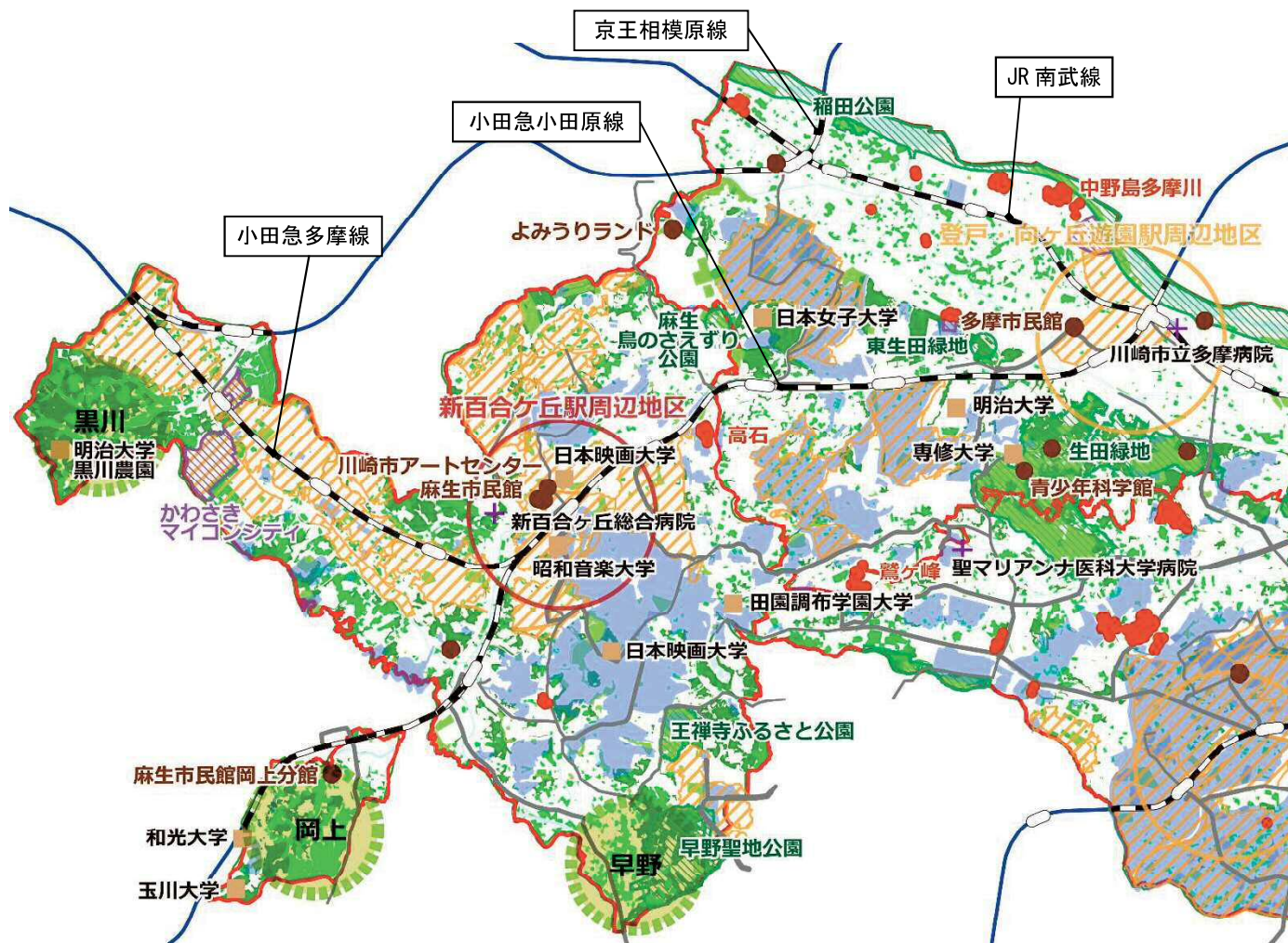
生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方

第6部

計画の実現・推進方針



【北部エリアの地域特性】



凡例

- 主要鉄道
  - 路線バス（100本以上/日）
  - 主な病院（一般病床300床以上）
  - 主な産業・研究開発
  - 主な公園・緑地
  - 市営住宅
  - 文化施設等
  - 大学
  - 農の3大拠点
  - 土地区画整理事業
  - 耕地整理
  - その他、宅地開発  
※5ha以上の開発許可等。  
一部工業跡地利用(2ha以上)含む
  - 市域・行政区
- H22土地利用
- 農地
  - 山林
  - 河川・水路・水面
  - 公園・広場・緑地等

第1部

改定の趣旨等

第2部

まちの現状・課題

第3部

都市づくりの基本理念

第4部

分野別の基本方針

第5部

生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方

第6部

計画の実現・推進方針

## 4 北部エリアのまちづくりの考え方

### (1) 広域拠点（新百合ヶ丘駅周辺地区）

- ・都心からの放射状に延びる主要な鉄道路線が乗り入れる本市の主要なターミナル駅としての特性を活かすとともに、近隣都市拠点（新宿・町田等）の都市機能を意識しながら、豊かな自然環境、文化・芸術等の地域資源を活かし、芸術文化が息づく魅力あるまちづくりを推進し、市内外から人を呼びこむことができる個性と魅力にあふれた広域拠点の形成をめざします。

### (2) 地域生活拠点（登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区）

- ・本市における主要な駅としての特性を活かすとともに、鉄道沿線の新百合ヶ丘駅周辺地区等と連携し、交通結節機能の強化や、多摩川や多摩丘陵等の地域資源を活かしたまちづくりを推進し、商業、業務、都市型住宅が調和した、地域生活ゾーンの核となる拠点の形成をめざします。

### (3) 身近な駅周辺／鉄道沿線

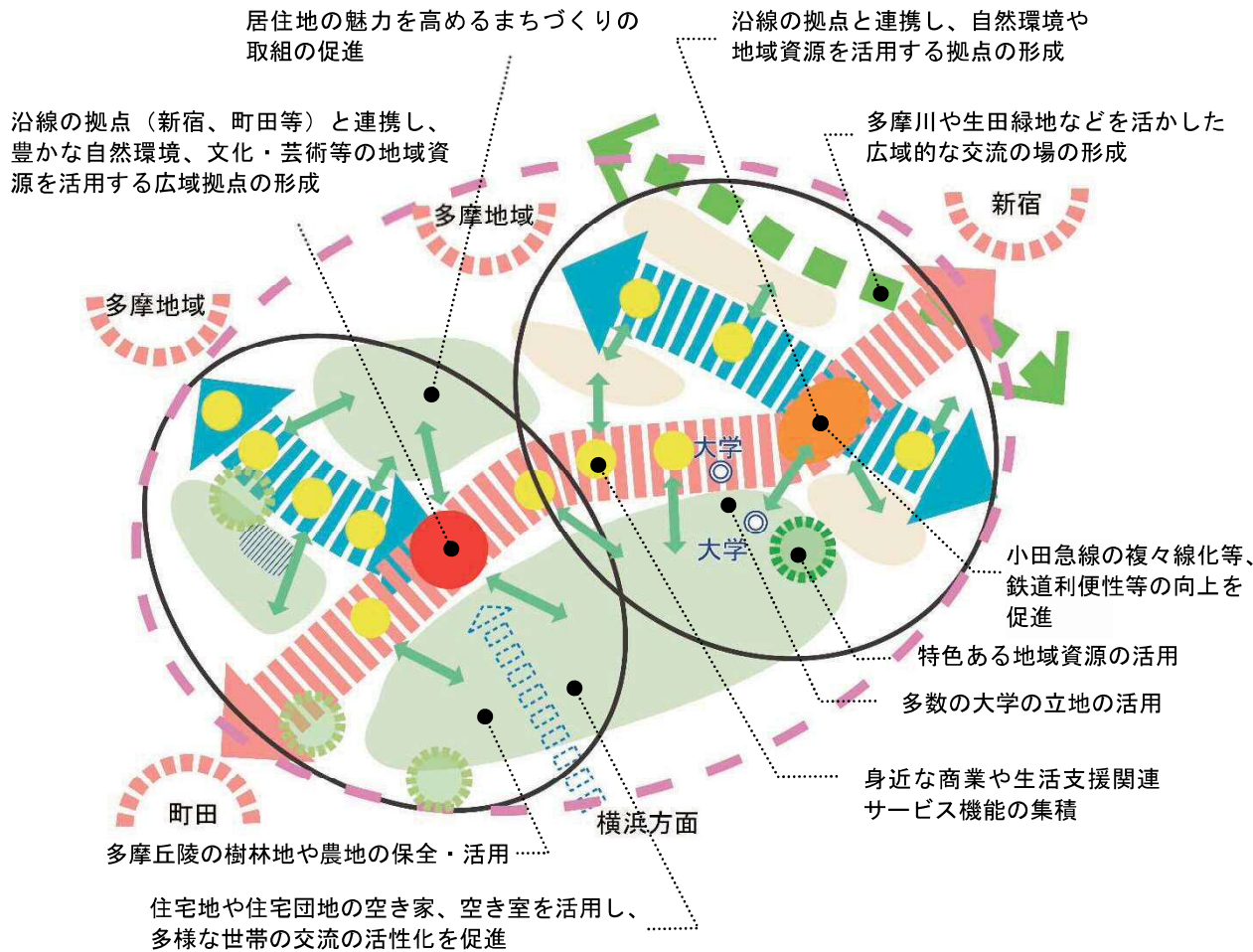
- ・鉄道沿線の拠点地区と連携しながら、機能の分担を図り、地域住民の暮らしを支える身近な商業や生活支援関連サービス機能の集積をめざします。
- ・豊かな自然環境や農地、文化・教育施設、レジャー施設といった特色ある地域資源を活かし、鉄道沿線の魅力の向上をめざします。
- ・鉄道駅周辺における高い利便性を活かし、多数の大学が立地していること等から新たな住宅や住まい方の誘導を図るとともに、住み替えの円滑化等による多様な世代が居住できる環境整備の促進をめざします。
- ・駅の橋上駅舎化や踏切の安全対策などにより、鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全性・利便性を高め、駅へのアクセス向上を図ります。
- ・小田急小田原線の複々線化等による鉄道の利便性や快適性の向上を促進します。

### (4) エリア全般

- ・エリア内の奥行の広さや高低差のある地形等、本エリアにおける地域特性を考慮し、サービスの向上による公共交通の利用促進を図り、駅や駅周辺へのアクセスの向上をめざします。
- ・多摩川や生田緑地等の本市を代表する環境資源を活かし、アクセスの向上や魅力の発信を通じ、広域的な交流の場の形成をめざします。
- ・多摩丘陵の樹林地や農地を保全・活用し、身近な地域が連携する交流の場の形成をめざします。
- ・良好な居住環境を有す計画的に整備された住宅地や住宅団地の空き家、空き室を活用して、多様な住まいや地域交流等の場の形成を図り、多様な世帯の交流による、地域コミュニティの活性化に取り組むなど、居住地の魅力を高めるまちづくりの取組を促進します。



# 北部エリアのまちづくり概念イメージ図



### 凡例

広域拠点	都市軸（放射方向）	生活行動圏	主な公園・緑地
地域生活拠点	都市軸	地域生活ゾーン	主な農地
身近な駅周辺	都市軸（新規ネットワーク）		主な産業・研究開発
	駅や駅周辺へのアクセスの向上		多摩川
			大学
			平たん部居住地
			丘陵部居住地

第1部 改定の趣旨等

第2部 まちの現状・課題

第3部 都市づくりの基本理念

第4部 分野別の基本方針

第5部 生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方

第6部 計画の実現・推進方針

